

第38回市民タイムス少年サッカー新人戦

カガミカップ 12日開幕

第38回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ(市民タイムス、松本市サッカースポーツ少年団連合会主催、カガミグループ協賛)が12日(日)、松本市内の小中学校グラウンドなど8会場で開幕する。今年度は4年ぶりに全県レベルの大会に戻し、県内各地から58チームが参加する。試合は8人制で、前後半15分(インターバル5分)のトーナメントで行う。同点の場合はPK戦をして勝敗を決める。決勝のみ10分間の延長がある。

初日(12日)を勝ち上がったベスト8チームは大会2日目の23日(祝)に松本市神林の総合球技場・サンプロアルウィンと隣の芝生グラウンドで準々決勝以上の試合をする。試合に先駆けて午前8時から、ベスト8の選手や大会関係者が出席し、アルウィンのスタンドで開会式を行う。

決勝は午後1時30分にキックオフの予定。閉会式は午後2時30分から開き、上位チームや優秀選手の表彰などを行う。



熱戦を繰り広げる選手たち(昨年の大会)

第38回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップが、今年もカガミグループ様にご協賛いただき、2日間の日程で開催されます。大会を支えてくださる大勢の皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス禍だった昨年までの3年間は、出場チームを中信地区に限定して行いましたが、今年春にコロナの感染症法上の位置付けが5類に移行したため、元のように全県レベルの大会に戻して開くことになりました。今年中は中信・北信・東信・南信の計58の小学生チームが参加します。このような大きな大会を復活させることができ、大変うれしく思います。

目指せ 聖地・アルウィン

市民タイムス 代表取締役社長 新保 裕介



選手の間が元気にプレーする姿は地域の大人たちに、夢と希望を与えてくれます。一緒に練習している仲間とグラウンドを力いっぱい走り、ボールを追いかけて、ゴールを狙ってください。また、家族や監督・コーチなど、支えてくれる周囲の方々への感謝の気持ちも忘れずにプレーしてください。

地域の未来を担う子どもたちのサッカー大会を主催できることは、地元新聞社にとって大きな喜びです。本大会を通じて、スポーツ振興や少年・少女の健全育成に微力ながら貢献できれば幸いです。

今年も市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップが開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。大会開催にあたり主催者の市民タイムス様・松本市サッカースポーツ少年団連合会様、また参加チームの選手・スタッフ・ご家族の皆さまなど全関係者のお力添えで本年度の大会が開催できますこと、心より厚くお礼申し上げます。



未来を担う子供たちに夢を託して

カガミグループ 株式会社大和ホーム工業 代表取締役 成田 秀文

38回を迎えることとなりました。新たな大会です。まさに38年前からの子供たちが、サッカーで培った苦労や努力で、今やさまざまな分野で社会の最前線で主役となって活躍されていることを強く意識し、子供たちの元氣と笑顔を応援していただくことを望んでいます。

昭和61年に始まり「少年サッカー新人戦」も回を重ね、今年で

年ぶりに全県内58チームの参加による大会となり、嬉しい限りです。本大会のコンセプト「子供たちに夢を託して」のもと、長く続けてき

「子供たちに夢を託して」大会をサポートできていることを誇りに思いますし、それ以上に心く、ひとつひとつのプレーを応援しています。地域の未来を

選手の間が元気にプレーする姿は地域の大人たちに、夢と希望を与えてくれます。一緒に練習している仲間とグラウンドを力いっぱい走り、ボールを追いかけて、ゴールを狙ってください。また、家族や監督・コーチなど、支えてくれる周囲の方々への感謝の気持ちも忘れずにプレーしてください。